

# 教会月報

No.521 (2022年5月29日)

【2022年6月号】

日本キリスト教団埼玉和光教会  
〒351-0114 和光市本町 15-50

聖霊の力によって

岩河 敏宏

ローマの信徒への手紙 15章 13節

13 希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。

『1946年5月12日(日)、初めての礼拝が守られた。場所は旧中央工業の社員寮として戦争末期に建てられた3棟のうちの南棟の1室、10畳間であった。』

【創立70周年記念誌より】これが、現在の埼玉和光教会の礎となり、今日に至っています。初代牧師・園長の白水万里牧師は、敗戦直後の混乱期で復興に向けて舵を切る社会にあって、取り残される幼少児の魂が荒廃する状況を憂い幼児保育にも尽力され、それが現在の小羊幼稚園の出発点となっています\*1。ですから小羊幼稚園の教育理念は、一般的な学校法人の幼稚園とは一線を画しています。第二代牧師・園長の山田嘉三牧師もそのことを十分に認識しておられ、神が園児一人ひとりを唯一無二の存在として大切にされている、このことを現せる保育者を養成しようとされていました\*2。また、埼玉和光教会の働きと小羊幼稚園の働きを結ぶ大切な業として、教会学校の活動があるという考えを持っておられました\*3。

埼玉和光教会と小羊幼稚園の基礎を築くとともに、更なる伸展に尽力された両牧師・園長の理念は、今日

まで受け継がれています。社会では、時代の変遷の中で価値観や評価基準が変化し、本当に大切な物事の本質を捉えにくくし、それが人々の不安な気持ちを煽っています。だから、私たちは常に周囲と比較し多数派でいることに安堵しますが、それは必ずしも喜びや平和(平安)に直結する訳ではありません。

冒頭の聖句は、ユダヤ伝統の「律法」の実践有無で対立する者たちに向けて、互いに受け入れあうよう求める勧め全体を締め括る最後の一文で、祈りでもあります。自他の間で行いの優劣を競うのではなく、希望の神が、信じることによるあらゆる喜びと平和であなたがたを満たして下さるように祈っています。さらに、“信じること”に伴う“聖霊の力によって”この勧告を聞く全ての民が、“希望に溢れる”ようにとも願っています。

唯一無二の命を尊ばれる神、己の弱さ故に希望を見失う者を救い出されるイエス、孤独を感じる時に風のように勇気を注ぐ聖霊、これら神の働きが今も私たちを見守り続けています。この真実に気付いてもらうために、小羊幼稚園・埼玉和光教会・教会学校の働きがあります。聖霊の力が豊かにあり、これらに繋がる方々が希望に満ち溢れる日々を送れるよう、お祈りしています。

\*1;『埼玉和光教会30年史 8頁』、\*2;『創立40周年記念誌 27頁~29頁』、\*3;『創立40周年記念誌 41頁~42頁』